

北海道地域福祉学会ニュース NO.17

2002年12月18日発行 / 編集 北海道地域福祉学会事務局

第9回総会・研究大会開催

2002年8月3日(土)13時00分より北星学園大学にて、第9回研究大会及び総会が開催されました。

研究大会では、い～な・い～ず代表の大久保薫氏、フリーダム十勝理事長の田中利和氏、福来路の家管理人の駒木晃次氏をシンポジストに迎え、『地域福祉の新しい展開～コミュニティサービスを考える』をテーマにシンポジウムが行われました。研究発表は橋本伸也理事の「障害者と市町村」、梶晴美会員の「訪問介護サービス利用に関する介護保険制度の構造的問題～訪問介護サービス利用者調査より」、杉岡直人会長の「地域通貨とまちづくり」の3テーマが発表されました。

その後17時00分より総会が行われ2001年度の事業報告並びに収支決算報告、監査報告、2002年度事業計画並びに収支予算について協議されました。

また、今回の総会では、理事改選が行われ、新役員に下記の方々が就任されました。

(敬称略・下線は新役員)

顧問	忍 博次(吉備国際大学)
会長	杉岡 直人(北星学園大学)
副会長	北村 久美子(旭川医科大学)
	白戸 一秀(北海道社会福祉協議会)
理事	飯島 紀子(札幌市清田区基幹型在宅介護支援センター)
	石川 秀也(北広島市高齢者総合ケアセンター聖芳園)
	大内 高雄(北星学園大学)
	梶 晴美(北海道浅井学園大学)
	清水 耕策(北海道精神保健福祉センター)
監事	稗田 静雄(緑ヶ丘老人ホーム)
	乾 匡子(財団法人北海道高齢者問題研究協会)

研究大会・総会終了後の懇親会では、忍顧問をはじめとする参加メンバーの集いをもち、時間を忘れるほど語り合い、交流を深めることができました。

定例研究会のお知らせ

2002年度定例研究会を下記の日程で行います。時節柄お忙しいとは思いますが、お誘い合わせの上、たくさんの参加をお待ちしております。

第2回定例研究会

社会福祉基礎構造改革の理念を実現する「支援費制度」が制度としてどのような問題を含んでいるのか、障がい者が住み慣れた地域でその人らしい生活を送るための制度実施になっているのかを検討します。

テーマ 「社会福祉基礎構造改革の理念と障害者施設の現状の課題」

とき 2003年1月16日(木)
18時30分より

ところ 道立社会福祉総合センター演習室
講師 横井 寿之氏(北海道医療大学)

第3回定例研究会

地域福祉権利擁護事業開始から3年が経ち、地域生活を支援する制度の見直しの時期となりました。成年後見制度も踏まえ今後の展望を見据えます。

テーマ 「権利擁護事業の現状と課題」

とき 2003年3月13日(木)
18時30分より

ところ 道立社会福祉総合センター演習室
講師 白戸 一秀氏(北海道社会福祉協議会)

上記参加要綱

参加費 会員・学生 500円
非会員 1,000円
定員 30名(定員になり次第締め切ります)
申込方法 別紙申し込み用紙をご記入の上、2003年1月14日(火)・3月12日(火)まで事務局宛お知らせください。

「北海道地域福祉研究」の投稿を募集します!!

2002年度北海道地域福祉学会研究紀要、「北海道地域福祉研究 第6巻」の投稿を募集します。下記の投稿規程をもとに、2003年1月15日(木)までに事務局宛ご投稿くださいますようお願いいたします。また、ご投稿を希望の方は、2003年2月20日(木)まで事務局宛ご連絡ください。

北海道地域福祉学会「北海道地域福祉研究」編集・投稿規程

1. 本誌は、北海道地域福祉学会の機関誌であって、年1回発行する。
2. 本誌は、原則として会員の地域福祉関係の研究発表にあてる。
3. 本誌は、論文、研究ノート、実践レポート、資料、書評、その他の欄を設ける。
4. 本誌の編集は、編集委員会によって行われ、原稿の掲載は編集委員会が決定する。
5. 掲載する原稿には投稿原稿と編集委員会からの依頼原稿がある。
6. 投稿者(複数の著者がいる場合は筆頭著者)は、本会員でなければならない。
7. 投稿論文は査読に基づく審査により、編集委員会が採否を決定する。
8. 原稿は別途定める執筆要領に従うものとする。
9. 執筆要項に定められた字数等の制限を超えた場合には、審査の有無にかかわらず編集委員会から修正を求めることができる。
10. 投稿者は、編集委員会事務局に原稿のコピーを2部送付するものとする。投稿原稿は、原則として返却しない。
11. 著者校正是、1回とする。
12. 掲載論文については、掲載誌2部を進呈するが、切り刷り(別刷り)を希望する場合は、執筆者の実費負担とする。

~北海道地域福祉学会事務局~

北海道社会福祉協議会 総務部企画調整担当(担当:名畑)

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 道立社会福祉総合センター内

TEL(011)241-3976 FAX(011)271-1977

E-mail TOB01A01@wamnet.wam.go.jp

~最近の掲載内容紹介~

2001年度(1)

- 研究論文**
- ・韓国の地域福祉特性と(釜山)社会福祉協議会の現状・課題(朴峰寛)
 - ・コミュニティセンターとしての韓国社会福祉館(高橋紀子)
 - ・介護療養型医療施設におけるニーズの実態とリハビリテーションの役割について
~介護老人保健福祉と比較調査を通じて~(鍋田千賀・橋本伸也)
- 研究ノート**
- ・在宅生活サポートハウスの先駆的事例と展開について(林芳治・杉岡直人)
- 海外福祉事情**
- ・デンマークの社会福祉について(平中忠信)

2001年度(2)

- 記念講演** ・ 変わる福祉と変わらない価値(阿部志郎)
- 研究論文** ・ 痴呆性高齢者の療養看護に対する寄与分(北村久美子)
- ・ 要介護者の介護環境と地域格差
～訪問介護サービス利用者の首都圏・宮城・北海道の地域比較～(梶晴美)
- ・ ボランティアセクターと公共性の再編
～北アイルランドの地域健康教育の実践を例として～(武田るい子)
- 実践レポート** ・ 札幌市における福祉除雪の現状と課題について(大内高雄・小平正治)
- 文献紹介** ・ 「HACCプログラムに関する調査報告」(石川秀也)
- 資料** ・ 「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会」報告書

日本地域福祉学会の動き

～日本地域福祉学会会員状況～

日本地域福祉学会の会員数は、2001年度1,622名に対し、今年度10月1日現在1,742名と120名増加しました。そのうち、北海道部員も67名から69名と増加しており、より多くの会員の拡大を目指しています。(注:北海道地域福祉学会会員は12月18日現在120名です)

～日本地域福祉学会助成金～

日本地域福祉学会へ手続き上の修正申請をおこない地方部会報告を送付した結果、活動実績が認められ遡って助成金が交付されることとなり2年分で20万円の助成金を8月29日に受け取りました。今後もより充実した学会活動を行っていきたいと思います。

～2003年度大会予告～

2003年6月6日(金)、7日(日)に第17回日本地域福祉学会大会が、高知県高知市で開催されます。現段階では、テーマを『地方からの発信「地域福祉でまちづくり」』となっています。

北海道地区からも多くの方の参加望まれています。

～地方委員の選出～

日本地域福祉学会の地方活動強化と連絡役を担う地方委員を以下の方に決定しました。とくに東北ブロックとの連携をはかることを課題としています。

地方委員の方を通じて日本地域福祉学会との連携をより強くもって活動していきます。

- ・白戸 一秀 副会長
- ・石川 秀也 理事
- ・橋本 伸也 理事

事務局よりお知らせ

住所変更について

会員の方で、所属先や自宅の住所・電話番号の変更や今回送付させて頂きました学会ニュースなどの送付先に変更がありましたら、ご面倒でも事務局までご連絡ください。またお知り合いの方で入会希望の方がいましたら、随時受

付けておりますので、お知らせください。

会員請求について

2002年度の学会費の請求を別紙でご案内させていただいております。過年度分の会費(年間5,000円)をお納めになっていない方につきましては、2002年度の学会費とご一緒にお早めにお納め下さい。

(既に納入された方につきましてはご案内しておりません)

送付物について

学会ニュースNO.17と共に総会に出席されなかった方には総会資料を送付させていただいております。送付が遅れましたことお詫び申し上げます。

掲載記事について

学会ニュースに掲載する記事を随時募集しています。また、会員の方で図書・報告書などまとめられた方がありましたら、ニュースにも掲載したいと思いますので、お知らせください。

編集後記

北海道地域福祉学会活動についてご意見等ございましたらお寄せください。また定例研究会のテーマ・報告者等ご希望がありましたらお聞かせください。

それでは良いお年をお迎えください。<事務局>

～北海道地域福祉学会事務局～

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会
総務部 企画調整担当(担当:名畑)

〒060 0002

北海道札幌市中央区北2条西7丁目
道立社会福祉総合センター内

tel (011)241 3976

fax (011)271-1977

E-mail T.O.B01A01@wamnet.wam.go.jp